

平成30年 第4回 定例会  
12月

# つがる市議会会議録

---

## 予算特別委員会

平成30年12月 7日開会

平成30年12月10日閉会

つがる市議会

# 平成30年第4回つがる市議会定例会 予算特別委員会会議録目次

## 第 1 号 (12月7日)

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席委員	2
欠席委員	2
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	3
職務のため議場に出席した者の職氏名	3
開会、開議宣告	4
委員長の互選	4
副委員長の互選	4
散会の宣告	5

## 第 2 号 (12月10日)

議事日程	7
本日の会議に付した事件	7
出席委員	8
欠席委員	8
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	9
職務のため議場に出席した者の職氏名	9
開議宣告	10
議案第85号の説明、質疑	10
・議案第85号 平成30年度つがる市一般会計補正予算(第4号)案	
議案第86号の説明、質疑	16
・議案第86号 平成30年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案	
議案第87号の説明、質疑	16
・議案第87号 平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)案	
議案第85号～議案第87号の討論、採決	17
・議案第85号 平成30年度つがる市一般会計補正予算(第4号)案	
・議案第86号 平成30年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案	
・議案第87号 平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)案	

閉会の宣告.....	18
署名.....	19

# 第 1 号

平成 3 0 年 1 2 月 7 日 (金曜日)

平成30年第4回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第1号）

平成30年12月 7日（金曜日）午前10時38分開会、開議

1 開会、開議宣告

1 議事日程

正副委員長互選

---

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（19名）

1番	齊藤 渡	2番	田中 透	3番	佐々木 敬藏
4番	長谷川 榮子	5番	成田 博	6番	木村 良博
7番	佐藤 孝志	8番	長谷川 徹	9番	三上 洋
10番	野呂 司	11番	天坂 昭市	13番	佐々木 直光
14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊	16番	山本 清秋
17番	伊藤 良二	18番	松橋 勝利	19番	白戸 勝茂
20番	高橋 作藏				

欠席委員（1名）

12番 成田 克子

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 □ 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	台丸谷 績
民 生 部 長	山 谷 智
福 祉 部 長	白 戸 登
経 済 部 長	山 内 信 昭
会 計 管 理 者	稲 場 慎 也
教 育 部 長	長 内 信 行
消 防 長	山 崎 和 人
選挙管理委員会事務局長	三 上 雅 弘
農業委員会事務局長	木 村 真 悦
監査委員事務局長	工 藤 賢 聖
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	川 村 博 文
福 祉 課 長	佐 藤 廣 文
農 林 水 産 課 長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	鳴 海 義 仁
消防本部総務課長	工 藤 敏 弘
建築住宅課長	山 口 敬 樹

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事 務 局 次 長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

---

◎開会、開議宣告

○臨時委員長（松橋勝利君） それでは、委員長が決定するまでの間、臨時に委員長の職務を行います。

ただいまの出席委員数は19名です。定足数に達していますので、予算特別委員会を開会します。  
成田克子委員より欠席の届け出がありましたので、報告いたします。

（午前10時38分）

---

◎委員長の互選

○臨時委員長（松橋勝利君） 直ちに委員長の互選を行います。

互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長（松橋勝利君） ないようです。ご異議なしと認め、私から指名します。

委員長に田中透委員を指名します。

ただいまの指名にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長（松橋勝利君） ご異議なしと認め、委員長に田中透委員が当選しました。

田中透委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。  
ここで委員長と交代します。

以上であります。

〔委員長交代〕

---

◎副委員長の互選

○委員長（田中 透君） 皆様より委員長にご推挙いただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

委員並びに理事者の皆様のご協力のもと、委員会の円滑な運営に努めたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、これより副委員長の互選を行います。互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ご異議なしと認め、私から指名いたします。

副委員長に木村良博委員を指名します。

ただいまの指名にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕



○委員長（田中 透君） ご異議なしと認め、副委員長に木村良博委員が当選しました。

ただいま当選した木村良博委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。

---

◎散会の宣告

○委員長（田中 透君） 付託された議案の審査は12月10日、午前10時から行います。

本日はこれにて散会します。

（午前10時44分）

# 第 2 号

平成 3 0 年 1 2 月 1 0 日 (月曜日)

平成30年第4回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第2号）

平成30年12月10日（月曜日）午前10時開議

1 開議宣告

1 議事日程

議案第85号 平成30年度つがる市一般会計補正予算（第4号）案

議案第86号 平成30年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案

議案第87号 平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）案

---

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（20名）

1番	齊藤 渡	2番	田中 透	3番	佐々木 敬藏
4番	長谷川 榮子	5番	成田 博	6番	木村 良博
7番	佐藤 孝志	8番	長谷川 徹	9番	三上 洋
10番	野呂 司	11番	天坂 昭市	12番	成田 克子
13番	佐々木 直光	14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊
16番	山本 清秋	17番	伊藤 良二	18番	松橋 勝利
19番	白戸 勝茂	20番	高橋 作藏		

欠席委員（なし）

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 □ 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	台丸谷 績
民 生 部 長	山 谷 智
福 祉 部 長	白 戸 登
経 済 部 長	山 内 信 昭
会 計 管 理 者	稲 場 慎 也
教 育 部 長	長 内 信 行
消 防 長	山 崎 和 人
選挙管理委員会事務局長	三 上 雅 弘
農業委員会事務局長	木 村 真 悦
監査委員事務局長	工 藤 賢 聖
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	川 村 博 文
福 祉 課 長	佐 藤 廣 文
農 林 水 産 課 長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	鳴 海 義 仁
消防本部総務課長	工 藤 敏 弘
建築住宅課長	山 口 敬 樹

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事 務 局 次 長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

---

◎開議宣告

○委員長（田中 透君） 皆さん、おはようございます。ただいまの出席委員数は20名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

---

◎議案第85号の説明、質疑

○委員長（田中 透君） 本委員会に付託された案件は、議案第85号から第87号までの予算案3件です。

説明員については、さきに配付した名簿のとおりであります。

審査の方法は、議案ごとに質疑を行い、質疑終了後、一括して討論、採決といたします。

これより議案の質疑を行います。

議案第85号 平成30年度つがる市一般会計補正予算（第4号）案を議題とします。

説明を求めます。

平田財政課長。

○財政課長（平田光世君） 改めまして、おはようございます。それでは、私のほうから議案第85号平成30年度つがる市一般会計補正予算（第4号）案についてご説明いたします。

今回の補正予算は、既定の予算の総額に5億2,063万5,000円を追加し、予算の総額を244億4,743万9,000円とするものでございます。

第2条では、債務負担の追加を行ってございます。

また、3条では、地方債の追加及び変更をそれぞれ補正したものでございます。

それでは、補正の主なるものについて、歳出からご説明いたします。13ページ、お聞きください。まず、13ページの一番上になりますが、6目企画費でございます。説明欄の13委託料、デマンド交通運行等指針作成業務委託料478万5,000円の追加でございます。こちらは、ことし9月から来年9月までの1年間で終了する地域内交通の実証運行に合わせて速やかに適切な交通体系を導入できるよう、デマンド交通の指針等を作成するため今回追加してございます。これは、2分の1が県の補助金で対応するということになってございます。

次に、15ページ、お願いいたします。15ページの中段から下になりますが、2項1目児童福祉総務費でございます。こちらの19負担金の認定こども園等整備事業費補助金でございます。こちらは、整備工事費等に係る補助対象経費が増加したことにより追加したものでございます。対象事業所は、しばた保育園となっております。こちらも国庫支出金の追加及び地方債の補正をしてございます。

次に、16ページ、お願いいたします。16ページの一番下になりますが、6目農地費でございます。19負担金の一番上ですが、県営基幹水利施設管理事業負担金914万2,000円の追加でございます。こ

ちらは、土地改良区で管理しております排水機場、稲垣と生田、平野の3カ所でございますが、こちらの修繕に係る負担金が主なものとなっております。

次に、20ページ、お願いいたします。20ページの上から2段目、説明欄の(1)、小学校建設費、それから下から2段目の中学校建設費にそれぞれ冷房設備設置工事の委託料及び工事費を計上してございます。こちらは、国の1次補正予算に伴いまして、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金により整備するという内容のものでございます。委託料及び工事費をそれぞれ計上してございます。財源といたしましては、国庫補助金を3分の1充当するという内容でございます。また、地方債も残りの補助対象事業費に充当するというので、地方債も計上してございます。内容につきましては、小学校6校に対する、普通教室ですね、こちら65室、それから管理室29、それから特別教室2となっております。合計、小学校96室でございます。また、中学校に関しましては、普通教室34、それから管理室16、合わせて50室でございます。合計146部屋を整備するものでございます。

次、22ページ、お願いいたします。予備費でございます。こちらは、突発的な修繕等が発生したことによりまして、3月までの不測の事態に対応するため、予備費を2,000万円追加してございます。

次に、歳入の説明をいたします。9ページへお戻りください。9ページの中段から下になりますが、国庫負担金の14款2項6目教育費国庫補助金でございます。こちらは、先ほど歳出でご説明いたしました小中学校に対する冷房設備の交付金、こちらをそれぞれ計上してございます。

次に、10ページ、お願いいたします。10ページの下から2段目になりますが、18の繰入金でございます。財政調整基金繰入金1億1,822万7,000円を追加してございます。こちらは、本補正予算の調整のため基金から繰り入れするものでございます。

以上、説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長(田中 透君) 説明が終わりました。

これより質疑を行います。なお、質疑の際はページと項目を示してください。ありませんか。

松橋勝利委員。

○18番(松橋勝利君) 11ページの市債のところの衛生債で、ごみ処理施設延命化(負担金)事業と650万あるのだけれども、これは事業の延命化に650万出して、何年ぐらいの延命を目指しているのか、まずそれ。

○委員長(田中 透君) 山谷民生部長。

○民生部長(山谷 智君) ただいまの松橋委員からのご質問にお答えします。

まず、この事業費においては、稲垣町にございます西部クリーンセンターの延命化事業ということで、その負担金について、今年度の事業の進捗が思った以上に進みまして、それによる出来高がふえたことにより、今回補正したものでございます。

そして、今延命化すれば、今後あと何年もつかというご質問についてですけれども、とりあえず今の工事の延命化についてですが、30年、31年、32年度の3カ年において工事を行います。まず、30年

度においては、1号炉、2号炉と2つあるのですけれども、それを2月の1カ月間だけ全面停止して改修の工事の準備段階に入ります。31年度は1号炉を7カ月間とめまして、32年度は2号炉を7カ月間とめます。そして、その間一般処理、ごみはもちろん引き受けるのですけれども、中で処理し切れないごみは、黒石、弘前のほうに運搬する手はずとなっております。よって、何年というよりも、今改修すれば、また次修理するまで、あるいは修理できなくなるまで使えると。使えなくなるのは、まだまだ先のことだと思いますので、何年という、これだといった年数は、今のところは出すことはできませんということで、ご了承をお願いします。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） そういう延命化は、私はまた延命化と言ったので、何年か目指して延命するものかと。その下の、そうすれば今度は教育費だけでも、11ページの。ここで、スクールバス購入事業の下、小中学校の空調設備事業の2億3,850万、これはどうなのだけ、全ての学校というか、学校の数、つがる市内の学校全てやるのかどうか。

○委員長（田中 透君） 鳴海教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 松橋委員にお答えします。

この事業は、市内の小中学校全てに対して行うということです。小学校は8校、中学校が5校、合計13校に対して行います。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） これはそうすると、今の予算通過すれば即やるということかどうか。

○委員長（田中 透君） 鳴海教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） まず、今年度3月までにおいて設計業務を完了させて、工事そのものは31年度に繰り越して、できれば夏あたりまでに終わらせたいと考えております。

○委員長（田中 透君） 佐々木直光委員。

○13番（佐々木直光君） 9ページの教育費国庫補助金ということで、説明にブロック塀、それから冷房設備対応臨時特例交付金となっています。それで、支出のほうでは小中学校の冷房の設備に使うと、こういうことになっていますけれども、ここの説明を見ればブロック塀ということで、学校のブロック塀で、地震で亡くなった子供がありまして、そのことについての対応ということがあったと思いますけれども、例えばつがる市において、小中学校、それから公共施設において、このブロック塀の例えば地震が来たときの危険性といいたいまいしょうか、そういうことについては大丈夫なのでしょう。

○委員長（田中 透君） 鳴海教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 佐々木委員にお答えします。

まず、学校関係ですが、市内において危険なブロック塀はありませんでした。そして、交付金の名称がブロック塀と冷房設備という2つ合わさった名称になっておりますけれども、当市において



は冷房設備のみの該当となっております。

○委員長（田中 透君） 佐々木直光委員。

○13番（佐々木直光君） 学校関係では大丈夫ということでしたけれども、公共施設、例えば公民館とかいろいろあるわけですが、その辺についても大丈夫なのでしょうか。

○委員長（田中 透君） 台丸谷財政部長。

○財政部長（台丸谷 績君） 公共施設でブロック塀が危険だというのは、1カ所、旧木造公民館にあった塀があります。あそこは駐車場で、まだ緊急性が低いということで、来年度予算で対応したいというふうに考えております。あとは、現地を調べましたが、今のところ危険なブロック塀はないというふうに考えております。

以上です。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 14ページの社会福祉総務費のところの国庫支出金等返還金で2,377万5,000円、ここにそれが出ているのだけれども、この返還金の内容を説明。

○委員長（田中 透君） 佐藤福祉課長。

○福祉課長（佐藤廣文君） 松橋委員にお答えします。

国庫支出金返還金について説明いたします。これは、臨時福祉給付金の返還金であります。平成26年4月に消費税を5%から8%に引き上げたことに伴って、低所得者の方に与える負担の影響に鑑み、適正な配慮を行うために、暫定的な措置として支給されたものであります。この2,377万5,000円の内訳としては、2つの給付金と、あと3つの事務費の返還金の合計であります。これら支給された金額が、給付金の額が確定したことに伴いまして、返還が生じたものであります。

以上であります。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 次、16ページだけれども、農地費のところ、予算の説明の中でも簡単には触れられていたのだけれども、県営基幹水利施設管理事業負担金、これが914万2,000円、説明の中では3カ所が云々と説明あったのだけれども、その詳しい説明と、負担金だから、これも。その下の土地改良施設の突発事故復旧事業負担金、これは突発事故といえれば何かわかるのだけれども、何がどの場所、そういうもの。

○委員長（田中 透君） 工藤農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 松橋委員にお答えいたします。

16ページ、農地費の負担金ですけれども、まず県営基幹水利施設管理事業負担金914万2,000円についてです。これは、先ほど財政課長からも説明ありましたけれども、国営で造成した基幹水利施設、何カ所かあります。そのうち稲垣揚排水機場、生田揚排水機場、平野揚排水機場、あと土淵堰用水路、芦野頭首工、下車力排水機場の修理に伴いまして、負担金が増額となったものでございま

す。ここの構成団体としましては、青森県、あとつがる市、五所川原市、鶴田町、あと関係土地改良区となっております。

次に、土地改良施設突発事故復旧事業負担金でございます。これは、屏風山揚水機場の取水口、車力地区の山田川からの水をとっているのですが、その取水口の堤防が陥没及び護岸の沈下に伴いまして、その復旧に係る工事の負担金でございます。これは、国が直轄事業として行うものでありまして、負担割合としては国が3分の2、県が30%、市が3.4%となっております。

以上です。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 突発事故といえ、地震か何かあったりすれば、そういうような感じだけでも、そうすれば水を引っ張っている管か何か腐食したとか、突発、急激に何かそういう陥没みたいな感じに受けているのだけれども、原因は結局何だかわかっているならば。

○委員長（田中 透君） 工藤農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 原因と言われましたけれども、原因は今のところわかっていません。陥没したのは、管とかではなくて、堤防の土が崩れたので、川の水流によって侵食されたのか、そこはちょっと不明ですけれども、堤防が崩れたということでもあります。

以上です。

○委員長（田中 透君） 長谷川徹委員。

○8番（長谷川 徹君） 13ページの企画費の13番、委託料、デマンド交通運行等指針作成業務、これは前にも説明あったような、バスが廃止になって、そこを何とかしようとかする事業だと聞いていましたけれども、ある意味デマンドという意味がよくわからないのですけれども、お願いします。

○委員長（田中 透君） 高橋総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 長谷川委員の質問にお答えします。

まず、デマンドの意味ということでしたけれども、デマンド交通というのは利用者の要求に対応して運行する交通、簡単に言えば予約制の公共交通になります。

以上です。

○委員長（田中 透君） 長谷川徹委員。

○8番（長谷川 徹君） 予約制ということは、もっとかみ砕いて言うと、どういうふうに市では考えていますか。

○委員長（田中 透君） 高橋総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 詳細をこれから指針作成するのですけれども、例えば今廃止になった弘南バスの路線に、1日3往復、定期路線で運行しているのですけれども、デマンド交通になりますと定期路線も予約制になりますので、定期路線でやる場合は予約がない日は運休となります。そしてまた、やり方によっては、その定期路線からちょっと外れた地域から予約があれば、そちらのほ

うに迂回して住民、お客さんを乗せて運行すると。また、ある方法では、全く定期路線はなくして、その地域、地域に予約があれば直接バスが何うという、いろいろな方法がありますので、それをこれからつがる市にはどういったやり方が合うのか、検討して指針を作成するということになっております。

以上です。

○委員長（田中 透君） 長谷川徹委員。

○8番（長谷川 徹君） きょうでも外はふぶいていて、非常にバスの停留所ですか、そこまで行くにも高齢化が進んでいて、なかなか行けないような状況であります。その廃止路線ばかりではなくて、全てを網羅するようなほうに向けて行ってほしいなと思うのですが、可能性はありますか。

○委員長（田中 透君） 高橋総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 当然廃止路線になったエリア、地域は重点的にこの指針の対象になりますが、それ以外につがる市の大きな意味での今後の公共交通のあり方、これも含めて検討して指針を作成いたします。

以上です。

○委員長（田中 透君） 長谷川徹委員。

○8番（長谷川 徹君） よろしくお願ひしたいのですが、大体何年ぐらいでめどをつけるようなことで計画されていますか。

○委員長（田中 透君） 高橋総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 廃止路線については、来年の9月いっぱいをめどに、今地域内交通ということで運行しておりますので、10月からの運行方法をどうするか検討しますが、つがる市全体の今後のあり方については、いつをめどとか、そういう計画ではなくて、早目に運行するように考えておりますので、ご了承願ひます。

○委員長（田中 透君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 20ページだけれども、予算の説明の中でも財政課長が触れていたのだけれども、ここの学校建設費のところなのだけれども、これは中学校の建設費だけれども、工事請負費、これは説明の中では国が3分の1の補助を出すとか何とか言っていたけれども、この工事請負費の1億200万以上あるのだけれども、これも今の予算が議決すれば、早速その工事にかかるのかどうか。

○委員長（田中 透君） 鳴海教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 松橋委員にお答えします。

この冷房設備の工事につきましては、その上段にあります設計業務委託料729万円ですが、この設計業務の完了をもって来年度の工事に入りたいと考えております。

○委員長（田中 透君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ないようですので、議案第85号の質疑を終わります。

---

◎議案第86号の説明、質疑

○委員長（田中 透君） 議案第86号 平成30年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） それでは、私から議案第86号 平成30年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億9,085万3,000円とするものでございます。

平成30年12月3日提出、つがる市長。

それでは、歳出をご説明いたします。6ページをお開き願います。第5款保健事業費、1項1目保健衛生普及費63万7,000円の増額補正ですが、これは印刷製本費で8万5,000円と通信運搬費で55万2,000円の不足額が生じたため補正するものでございます。

次に、第6款1項1目基金積立金54万4,000円の減額補正ですが、先ほどの保健衛生普及費で増額補正した額を調整するため減額するものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページへお戻り願います。第6款繰入金、1項2目特別会計繰入金9万3,000円を増額補正しております。これは、後期高齢者医療特別会計繰入金によるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（田中 透君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ないようですので、議案第86号の質疑を終わります。

---

◎議案第87号の説明、質疑

○委員長（田中 透君） 議案第87号 平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） それでは、議案第87号 平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ108万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億347万1,000円とするものでございます。

平成30年12月3日提出、つがる市長。

それでは、歳出からご説明いたします。6ページをお開き願います。第1款総務費、1項1目一般管理費99万4,000円の増額補正ですが、これは高齢者医療制度円滑運営事業で保険料軽減特例の見直しに伴うシステム改修業務委託費となっております。

次に、第2款諸支出金、2項2目他会計繰出金9万3,000円の増額補正ですが、これは国民健康保険特別会計繰出金として補正するものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページへお戻り願います。第3款繰入金、1項1目事務費繰入金で、99万5,000円を増額補正しております。

次に、第5款諸収入、2項1目雑入9万2,000円の増額補正でございますが、県後期高齢者医療制度特別対策補助金によるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（田中 透君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ないようですので、議案第87号の質疑を終わります。

以上で本委員会に付託された議案の質疑を終結します。

---

#### ◎議案第85号～議案第87号の討論、採決

○委員長（田中 透君） これより一括して討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ないようですので、討論を終結します。

これより一括して採決します。

議案第85号から第87号までの3件は原案どおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ご異議なしと認め、ただいまの3件はいずれも原案どおり可決することに決定しました。

以上で本委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

お諮りします。本委員会の審査経過と結果報告については、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（田中 透君） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

---

◎閉会の宣告

○委員長（田中 透君） 以上で本委員会の日程は全て終了しました。

審査に際して皆様から賜りましたご支援、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。これで予算特別委員会を閉会します。

（午前10時32分）

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長 田 中 透